



# 2021年 露地シャインマスカット病害虫防除暦

J A 中野市営農センター  
J A 中野市ぶどう部会

散布日	散布時期	散布薬剤(水 100ℓ当り)	収穫前 使用時期	使用 回数	散布量 (ℓ/10a)	対象病害虫 (発生病害虫)	注 意 事 項
	4月上旬 粗皮はぎ後 (発芽前)	<b>特別散布</b> 展着剤 20 mℓ ラビキラー乳剤 500 mℓ	発芽前 (休眠期)	2回	300	ブドウカミキリ (ブドウカシバ)	・ブドウカミキリ多発園地は散布する。 ・発芽後の散布は薬害が発生するので散布時期を厳守する ・訪花昆虫保護のため早朝散布を徹底する。
	4月下旬 (発芽直前)	① アビオン-E (展着剤) 100 mℓ デランフロアブル 500 mℓ	休眠期	1回	<b>手散布</b> 300	晩腐病 黒とう病	黒とう病対策のため、たつぷりと丁寧に散布する。
	5月初頭 特別防除 カガラムシ対策	<b>樹幹塗布(水:アルパリン=1:1)</b> 水【20mℓあたり】 アルパリン顆粒水溶剤 20 g	幼果期まで ただし収穫30日前	塗布 1回	1樹あたり 20-40 mℓ	コカイガラムシ類 クビアスカシバ	主幹分岐部下を30cm以上粗皮を削り塗布する。 薬液目安: 直径20cm以上の樹は40mℓ塗布
	5月上旬 (発芽直後)	② 展着剤 10 mℓ モスピラン顆粒水溶剤 50 g ※①カミカメ類が多発する園は注意事項参照	14日前	3回	300	ツマグロオカシカメ カガラムシ類	・訪花昆虫保護のため早朝散布を徹底する。 【※① カスミカメ類 対策】 モスピランに代えてスミチオン水和剤40,000倍 (21日前、2回)を散布する。
	展葉2-3枚 (5月上中旬)	③ 展着剤 10 mℓ オンリーワンフロアブル 50 mℓ ダイアジノン水和剤34 100 g	前日 30日前	3回 2回	300	晩腐病 黒とう病 うどんこ病 灰色かび病 カガラムシ類	【べと病多発園地 対策】 オンリーワンに代えて、キノンドー顆粒水和剤1,000倍 (45日前、4回(開花後1回))を散布する。 ※散布時は施設や住宅への飛散に注意
	5月下旬 展葉6枚頃	④ 展着剤 10 mℓ トランスフォームフロアブル 50 mℓ オーソサイド水和剤80 125 g	14日前 30日前	3回 3回	300	晩腐病・べと病 灰色かび病 黒とう病 カガラムシ類	カガラムシ類対策のため、主幹や主枝にもたつぷり散布する。
	6月上旬 展葉9枚頃	⑤ 展着剤 10 mℓ ドーシャスフロアブル 50 mℓ	60日前	3回	300	晩腐病 べと病 黒とう病	【カスミカメ類・カガラムシ類 対策】 コルト顆粒水和剤3,000倍(前日、3回)を加用する。
	6月上旬 展葉9枚頃	⑥ 展着剤 10 mℓ ストマイ液剤20 100 mℓ	満開予定日の 14日前～ 開花始期	1回	300	《無種子化》	散布遅れがないように注意する。 有核巨峰には絶対に飛散しないようにする。
	6月上旬 開花始期	展着剤 10 mℓ フラスター液剤 50- 100 mℓ	新梢展開葉 7～11枚時 (開花始期まで)	2回	150	《着粒増加》 《新梢伸長抑制》	花振るいする園地は必ず散布する。
	6月中旬 開花直前	⑦ 展着剤 10 mℓ パレード15フロアブル 50 mℓ オーソサイド水和剤80 125 g スプラサイド水和剤 66 g	7日前 30日前 14日前	2回 3回 2回	400	晩腐病 べと病 灰色かび病 褐斑病 黒とう病 チャノキアザミマ (アザミマ類) フタテンヒメコバエ (クビアスカシバ)	・主幹害虫対策のため、主幹・主枝にもたつぷり散布する。 ・アザミマ類対策のため、花穂(ぶどうの軸)にしっかりと薬液が達するようにたつぷりと散布する。 ・マンゼブ成分を含む農薬は使用回数に注意(年2回まで) (ジマンダイトン・ゾーベックエーベル・ペンコセブ・リドミルなど) 【ハダニ類 対策】 カネマイトフロアブル1,000倍(14日前、1回)を加用する。
	前回から 10日以内 (落花直後)	⑧ コテツフロアブル 50 mℓ スイッチ顆粒水和剤 33 g ジマンダイセン水和剤 100 g	60日前 30日前 45日前	2回 2回 2回	400	黒とう病 チャノキアザミマ (アザミマ類) フタテンヒメコバエ (クビアスカシバ)	【※② 農薬汚れ 対策】 ゾーベックエーベルに代えてホライズンドライフロアブル2,500倍 (21日前、3回)を散布する。
	前回から 10日以内 (落花17～20日)	⑨ フェニックスフロアブル 25 mℓ ゾーベックエーベル顆粒水和剤 133 g アドマイヤー顆粒水和剤 10 g ※②汚れが心配な場合は注意事項欄参照	14日前 45日前 21日前	2回 2回 2回	400	【※③ 農薬汚れ 対策】 ザンプロDMに代えてエトフィンフロアブル1,000倍 (7日前、4回)を散布する。	
	前回から 10日以内 (落花17～20日)	⑩ ザンプロDMフロアブル 50 mℓ アミスター10フロアブル 100 mℓ ディアナWDG 10 g ※③汚れが心配な場合は注意事項欄参照	30日前 30日前 前日	2回 3回 2回	400	晩腐病・べと病 褐斑病・黒とう病 灰色かび病 アザミマ類・ハダニ類	袋かけが間に合わない園地は必ず散布する。 冷蔵シャインでは灰色かび病対策のため、必ず散布する。
	前回から 10日以内 (落花30日)	<b>特別散布</b> ライメイフロアブル 25 mℓ オンリーワンフロアブル 50 mℓ アーデントフロアブル 50 mℓ	14日前 前日 前日	3回 3回 4回	400	べと病・さび病 チャノキアザミマ ブドウカミキリ カミシカメ類・ハダニ類 コカイガラムシ類	【展着剤 代替】 K・Kステッカーに代えてアビオン-E1,000倍を使用してもよい。ただしアビオン-Eを使用する場合は最初に調合する。
	7月下旬 (袋掛直後)	⑪ ムッシュボルドーDF 200 g アルパリン顆粒水溶剤 50 g コロマイト水和剤 50 g K・Kステッカー(展着剤) 33 mℓ	— 前日 7日前 —	— 3回 2回 —	400	べと病・さび病 チャノキアザミマ ブドウカミキリ カミシカメ類・ハダニ類 コカイガラムシ類	ボルドー散布時は隣接園や施設・住宅に飛散しないように注意。 【代替】 ICボルドー66Dに代えてムッシュボルドーDF 500倍、 コサイド3000 2,000倍、4-4式ボルドーを散布してもよい。 ただしムッシュボルドーやコサイドは高温時や降雨後の散布により薬害発生 の恐れがあるため心配な場合はクレフノン100倍を加用する。
	8月上旬 (前回から 10日以内)	⑫ ICボルドー66D 2.5 kg テルスター水和剤 100 g	— 14日前	— 1回	400	べと病・さび病 チャノキアザミマ	【べと病 対策】 べと病発生園はICボルドーに代えて下記薬剤を使用する。 ・レーバスフロアブル2,000倍(7日前、3回) ・エトフィンフロアブル1,000倍(7日前、4回) 【コガネムシ類 対策】 イカズチWDG 1,500倍(21日前、5回)を加用する。(直前混用) ただしカガラムシなど早生品種との混植園では散布時期に注意
	8月中旬 (前回から 10日以内)	⑬ ICボルドー66D 2.5 kg	—	—	400	べと病 さび病 晩腐病	
	8月下旬 (前回から 10日以内)	⑭ ICボルドー66D 2.5 kg	—	—	400	べと病 さび病 晩腐病	
	9月上旬 (除袋直前)	<b>特別散布</b> 展着剤 ICボルドー66D 2.5 kg	—	—	400		収穫が遅れる場合は散布する。

安全・安心な農産物生産のために防除・使用規準を厳守しましょう。 \* 農薬散布の際は、隣接園・他作物へ飛散しないようにする。

当防除暦の複製・コピーを禁止します